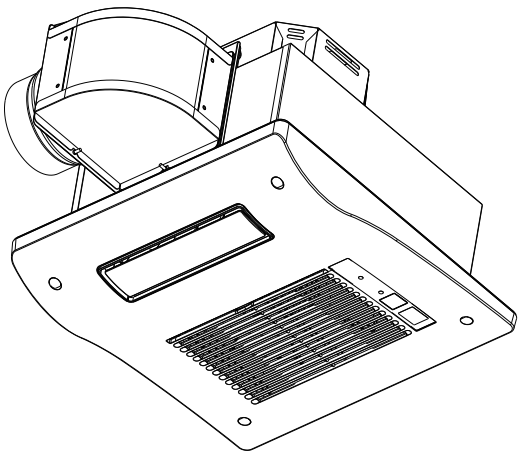
特定保守製品

Panasonic

工事説明書

バス換気乾燥機

品番　FY-13UG5V



はじめに

■この工事説明書は「バス換気乾燥機」に必要な施工方法のみを記載しています。
バスルームの施工説明書と併せてお読みのうえ、正しく施工をおこなってください。
■ご注意いただく内容については、バスルームの施工説明書に記載の「安全上のご注意」も、施工前に必ずお読みいただき、安全に施工をおこなってください。
■操作方法を取扱説明書に基づいてお客様に説明し、保証書に必要事項を記入のうえ、取扱説明書とともに、お客様にお渡しください。
■施工後、必ず試運転をおこなってください。
■設置工事完了後は、裏表紙の「確認事項のチェック」に基づき、必ず確認をおこなってください。
■この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

もくじ

安全上のご注意 ……2〜3
お願い ……3〜4
各部の名称と寸法 ……5〜6
取り付けかた ……6〜裏表紙
1.設置場所の確認 ……6
2.取り付け前の準備 ……7
3.ダクトの接続 ……8
4.電源の接続 ……9
5.本体の取り付け ……10
6.ワイヤレスリモコンの取り付け ……11
7.フロントパネルの取り付け ……12
8.試運転 ……13〜15
9.24時間連続換気の風量設定変更方法…15
10.衣類吊り下げ用パイプの取り付け …裏表紙
11.確認事項のチェック ……裏表紙

特定保守製品に関するお願い

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた「特定保守製品」です。
■特定保守製品とは、「消費生活用製品のうち経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるもの」です。
■**付属の取扱説明書と所有者票（黄色の封筒に入っています）は、特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）に必ずお渡しください。**
消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

安全上のご注意 必ずお守りください

■設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ設置してください。
■設置工事完了後、試運転をおこない異常がないことを確認し、取扱説明書に基づいてお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この工事説明書は、取扱説明書と一緒にお客様で保管いただくように依頼してください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	**「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。**
⚠注意	**「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。**

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	**実行しなければならない内容です。**

⚠警告

設置場所について

禁止

- **内釜式風呂を設置した浴室に、取り付けしない**
  （排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因）
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわない**
  （発火の原因）

- **工事は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「各都市の条例」に従って確実におこなう**
  （水漏れや感電、火災の原因）
- **メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトが貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と電気的に接触しないように絶縁処理を施す**
  （感電や火災の原因）

電気工事について

- **配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「電気工事士」が確実におこなう**
  （感電や火災の原因）
- **アース工事は電気設備技術基準に関連する法令・規程などに従って必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事をおこない、専用の漏電ブレーカーを設置する**
  （故障や漏電のときに、感電のおそれがあります）
- **電源電線は確実に接続する**
  （火災の原因）
- **必ず交流100ボルトで使用する**
  （感電や火災の原因）

機器について

禁止

- **絶対に分解や修理、改造はしない**
  （火災・感電・けがの原因）
- **本体を断熱材で覆わない**
  （火災の原因）
- **ファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れない**
  （感電・けが・やけどの原因）

⚠注意

設置工事について

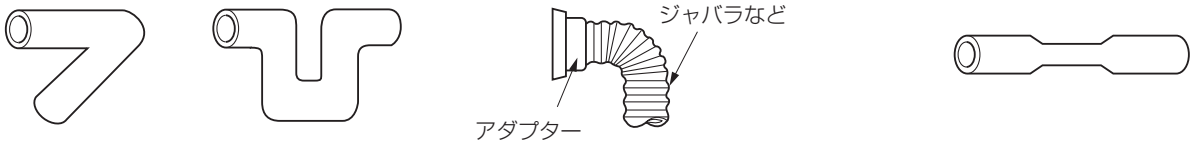
禁止

●温泉水、温泉成分を含んだ入浴剤を使用しない
（変色、腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因や、ひび割れや落下してけがをする原因）

●部品の取り付けは確実におこなう
●取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する
●本体は指定の方法で確実に取り付ける
●本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
（けがの原因）
●衣類吊り下げ用パイプは、天井面から250mm以上離す
（製品に近づけすぎると、衣類が変色する原因）

お願い

●一般家庭の浴室に取り付ける
●温泉または温泉を取り込んだ浴室に取り付けない
●スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けない
●油煙の発生する場所に取り付けない
●スプレーを使う場所に取り付けない
●ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取り付けない
●高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けない
●本体は天井の上に置いて取り付けない
●次のようなダクト・配管工事はしない
（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ　（3）アダプターのすぐそばでの曲げ　（4）接続ダクト径を小さくする



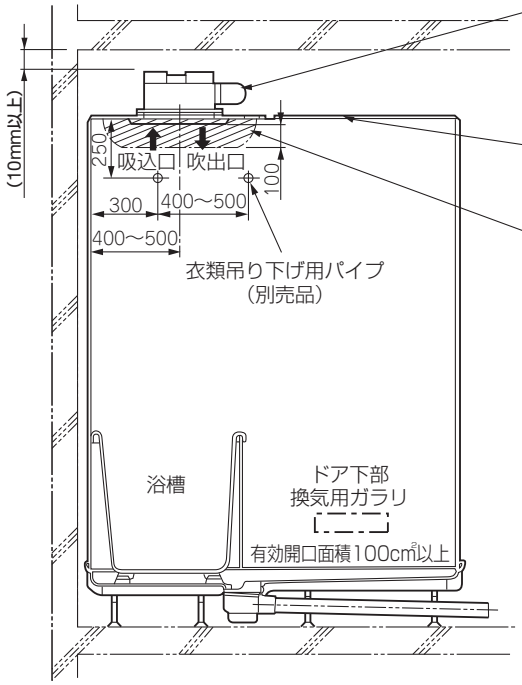
●電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続する
●専用の漏電ブレーカーは、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形（定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下）のものを選ぶ
●本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から1m以上離して施工する
●工事の際に、製品本体内部へ石こうボードの粉などの侵入がないようにおこなう
●樹脂製部品の取り付けは、ねじ締めの際は締めすぎて製品を破損させないよう、締付トルクに十分注意する
●保守点検のため、点検口は指定の場所に指定の大きさのものを必ず設置する
●効果的な換気のため、給気口を必ず設置する
●ユニットバス以外および下記の浴室では室温がほとんど上昇しないことがあります。
①窓が大きいとき
②浴室の容積が大きいとき
③タイル貼りの面積が大きいとき
④その他、浴室の密閉性や断熱性が悪いときなど
●ワイヤレスリモコンは直射日光や蛍光灯の近くなどの強い光が当たる場所に設置しないでください。

お願い(続き)

●このバス換気乾燥機の質量は5.2kgあります。使用浴室の天井が弱い場合は取り付け下地材で十分に強度を持たせ、特に天井材が樹脂製の場合は、必ず補強材を設けてください。
●メンテナンスのために天井裏の電源電線は十分にたるませてください。
●製品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。
本製品は消防法基準適合品です。(平成14年消防庁告示第1号)
地域によっては、火災予防条例に基づく指導が異なる場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。
本製品は(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております。

消防法 規制関連

消防法　基準適合



ダクト

○不燃材料をご使用ください。
○専用としてください。ただし、同一の住戸内で洗面所などのダクトが不燃材料の場合は、接続できます。

○必ず点検口を設けてください。
点検口がないと、保守点検・修理ができないことがあります。

○フロントパネルから100mm未満の範囲に造営材など(衣類および衣類吊り下げ用パイプを含む)を設置しないでください。

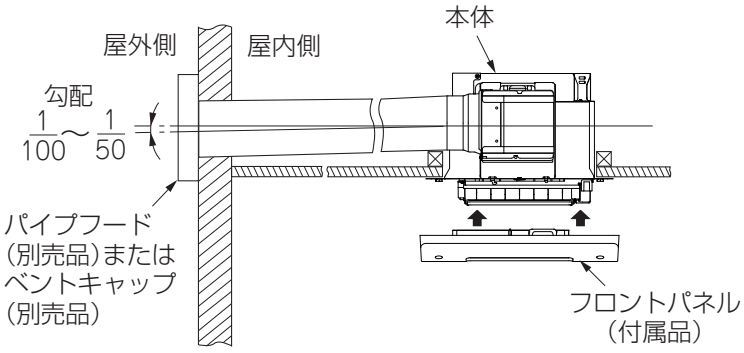
●アース棒の埋設場所について

適する場所　アース棒は常に湿気のあるところなど適切な場所を選定して埋設してください。

避ける場所
1）地下埋設場所（例：ガス管、水道管、地下ケーブル、引込管等）
2）避雷針や電話のアースから2m以内
3）ガス、酸などで腐食のおそれがある場所
4）人通りがはげしい場所

アース工事をおこないますと、感電防止の他に静電気による帯電防止やノイズを吸収する効果があります。

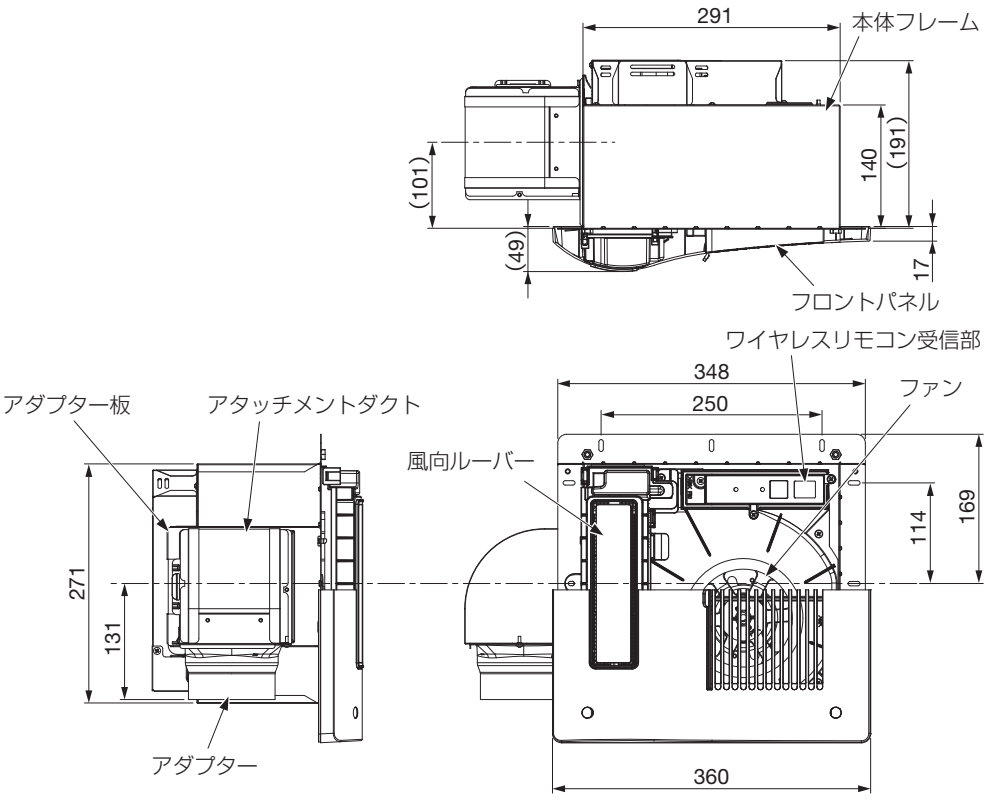
●衣類吊り下げ用パイプと天井面との距離は250mm以上離してください。
(製品に近づけすぎると衣類が変色するおそれがあります)
●衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは必ず1本当たり4kg以上の重量に耐える不燃性と耐食性の品物を選んで取り付けてください。
●衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず指定の寸法で取り付けてください。
(指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります)



各部の名称と寸法

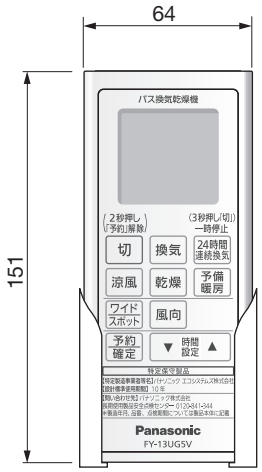
■本体

単位：mm



■ワイヤレスリモコン（ホルダー付）

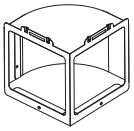
ホルダー固定用のねじ（Φ4×16…2）はリモコンホルダーに付属しています。



■付属品（同梱品）

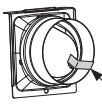
アダプター板 ……1

アタッチメントダクト ……1



アダプター ……1

シャッター固定用テープは施工時に必ずはがしてください。



シャッター固定用テープ（青色）

■付属品セット1　末尾の数字は数量をあらわします。

（フロントパネルに同梱）

トラスタッピンねじ（φ4×20）……9
（本体取り付け用、アダプター固定用）

トラス小ねじ（M4X10）……4
（フロントパネル取り付け用）

タッピンねじ（φ4×8）……2
（アダプター組み立て用）

■付属品セット2　末尾の数字は数量をあらわします。

（フロントパネルに同梱）

フランジ用パッキン（灰）……2

アルミテープ……1

乾電池（単4形）……2

取扱説明書……1
（必ずお客様にお渡しください）

工事説明書……1
（必ずお客様にお渡しください）

取付設置業者様へのお願い……1

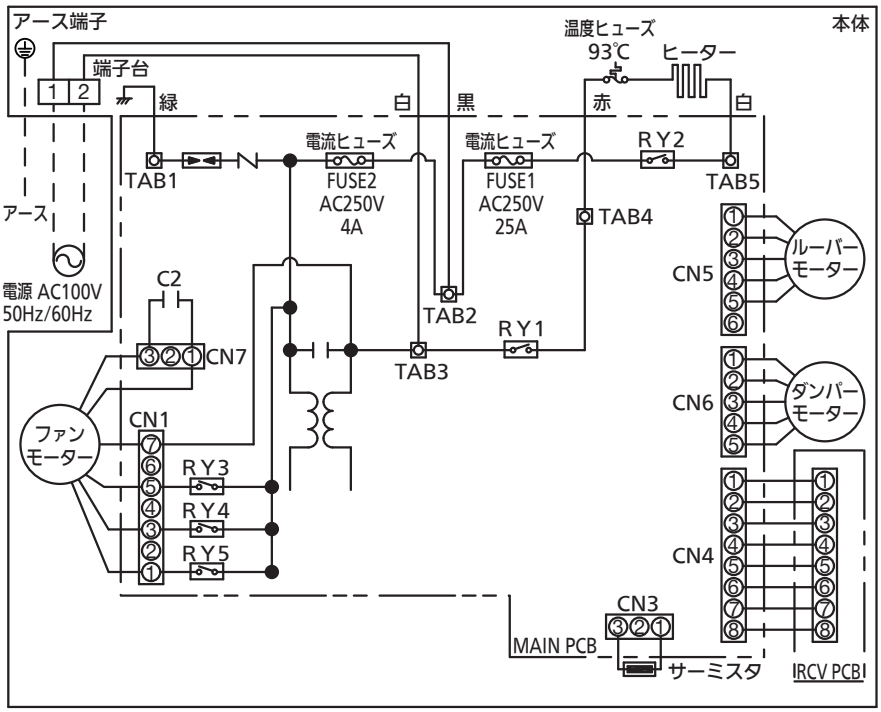
■所有者票セット……1

（フロントパネル表面に貼り付け）
（必ず特定保守製品取引事業者またはお客様にお渡しください）

お願い **この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。**

各部の名称と寸法(続き)

■結線図



■現場で用意してください。

漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電流20A、高感度 高速形（定格電流15mA・動作時間0.1秒以下）		
電源電線	VVFケーブルφ1.6またはφ2	適宜	
アース線	銅線直径φ1.6以上 （または断面積が2.0mm^{2}以上）	適宜	アース工事用
アース棒		適宜	
アルミテープ	幅50mm	適宜	ダクト固定用
ダクト	φ100（不燃材料）	適宜	
パイプフードまたはベントキャップ	ベントキャップ：FY-VCX042同等品 パイプフード　：FY-MCX042同等品	1個	外壁面取り付け用 ※1

※1 パイプフードは必ず防虫網なしを使用してください。

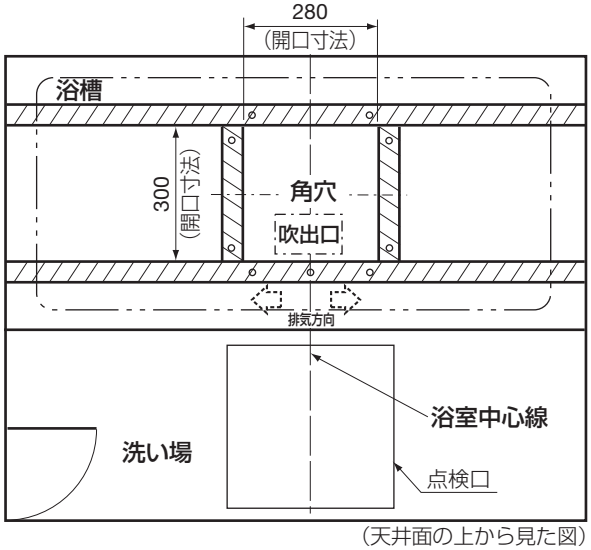
取り付けかた

1. 設置場所の確認

●ユニットバスへの設置としてください。
●本製品は1.25坪タイプまでのユニットバスに設置可能です。
●下記の浴室では予備暖房運転において、浴室温度が十分に上昇しません。
・ユニットバス以外　・浴室の容積が大きい　・窓が大きい　・タイルや大理石貼り
・浴室の密閉性や断熱性が悪い
●ユニットバスの天井はフラットなタイプをお選びください。
フラットな天井以外のユニットバスに設置する場合は事前にユニットバスメーカーに寸法を確認してください。
下記のタイプには設置できない場合があります。
・天井が傾斜している。　・ドーム形状になっている。
・プラスチック一体成型などの天井で、天井コーナーに大きなRが付いている。
●取り付け下地材の厚さは (天井厚み＋リブ高さ) < 30mm としてください。
（アタッチメントダクトが取り付けできない場合があります）
●天井材の強度が弱い場合は、開口部の補強をしてください。（本体重量5.2kg）
（強度についてはユニットバスメーカーに確認してください）
●ユニットバスのドアは給気口付きのものをご使用ください。また給気口は下部にあるタイプのものをご使用ください。
●衣類吊り下げ用パイプ収納用受部材の位置に補強板を裏打ちすることをおすすめします。
●天井の状態により、フロントパネルと天井面にすき間ができることがあります。

取り付けかた

2. 取り付け前の準備



(天井面の上から見た図)

1.本体の取り付け方向・位置・排気方向を確認してください。

※天井裏のすき間は220mm以上必要です。

※本体の排気方向は2方向へ選択できます。
（点検口から見て右または左方向）

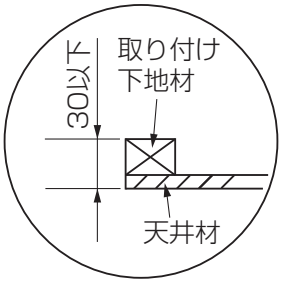
2. 浴室の天井面に角穴と下穴をあける。

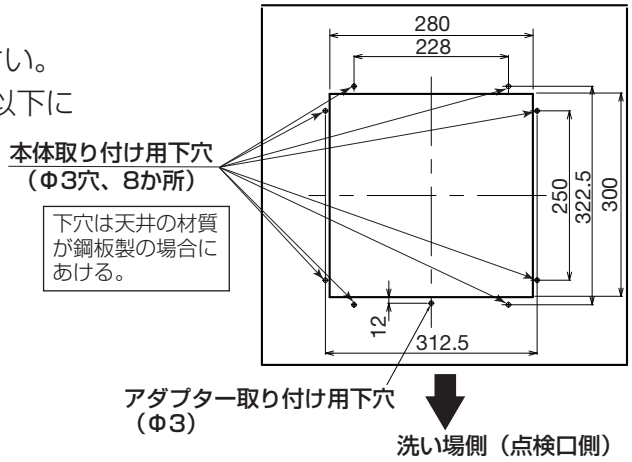
※アダプター取り付け用の下穴は、排気方向（アダプター側）のみあけてください。
（下穴は天井が鋼板の場合のみ）

3.浴室天井が弱い場合は、製品質量に十分耐えるように、必要に応じて天井を補強する。

※右上図の斜線部分に取り付け下地材を設けてください。

※取り付け下地材の厚さは天井板厚を含めて30mm以下にしてください。これ以上の寸法になりますと、施工・メンテナンスができません。



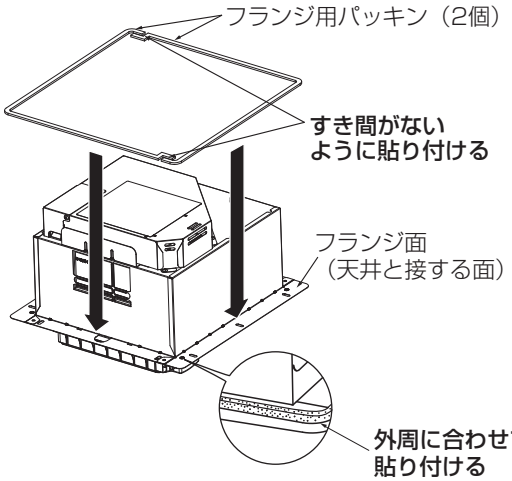


4.付属のフランジ用パッキン（2個）を、本体のフランジ面に沿って、貼り付ける。

※パッキンは、外周に合わせて、すき間がないように貼り付けてください。

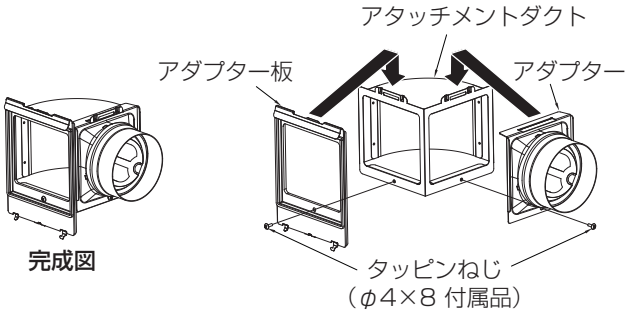
※パッキンにしわがよらないように貼り付けてください。

※右図のようにフランジが天井面と接する面にパッキンを貼り付けてください。

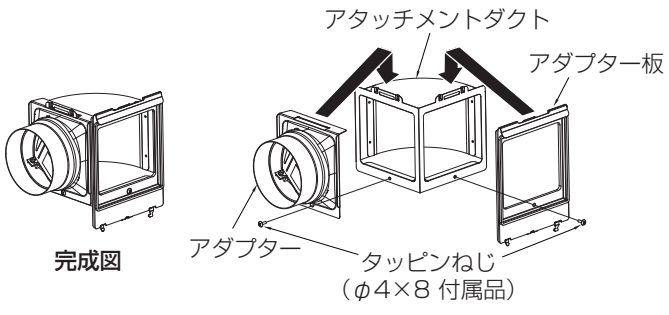


5.排気方向に合わせてアダプターを組み立てる。

点検口(洗い場側)から見て左排気



点検口(洗い場側)から見て右排気

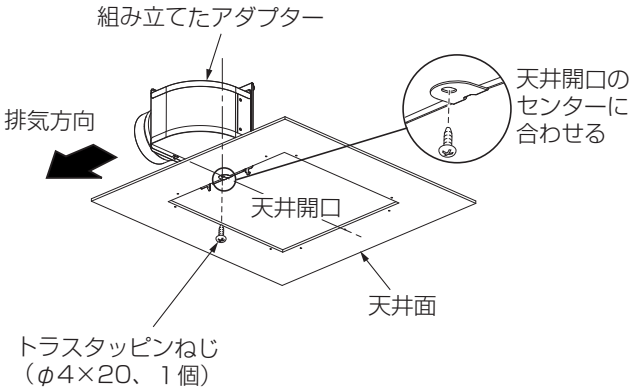


取り付けかた(続き)

3. ダクトの接続

1.組み立てたアダプターを天井開口の中心に当て、付属のトラスタッピンねじ（φ4×20、1個）で天井面に固定する。

※組み立てたアダプターは傾きが生じないように取り付けてください。
※ダクトを接続する前にシャッター固定用テープを必ずはがしてください。

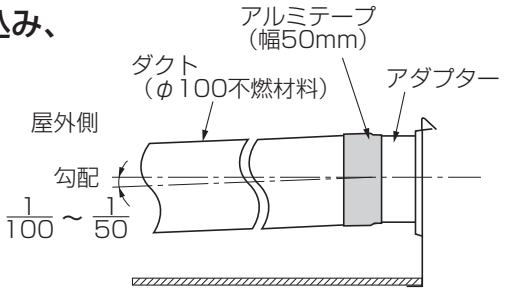


お願い

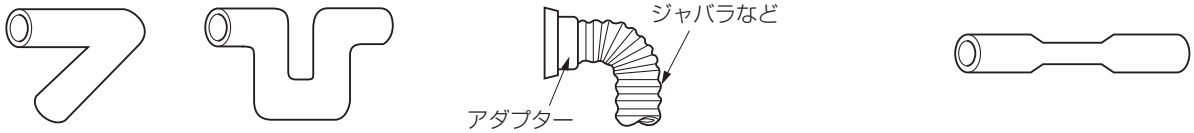
組み立てたアダプターは開口の中心に取り付けてください。
本体(アダプター)が開口に対し偏って取り付けられると、本体が天井に密着しなくなるおそれがあります。
密着しないと、フロントパネルと天井にすき間の発生や、風漏れの原因となります。

2.ダクト（φ100不燃材料，別売品）をアダプターに差し込み、アルミテープ（幅50mm，市販品）を巻いて固定する。

※ダクトは必ず屋外側に向かって下り勾配にしてください。
（アダプター接続部分を1/100～1/50の下り勾配）
※アルミテープは風漏れがないように巻いて下さい。
※ダクトはアダプターに力が加わらないようにしてください。
※次のような配管工事はしないでください。

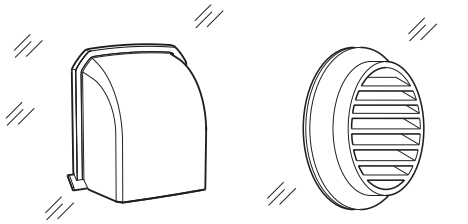


（1）極端な曲げ （2）多数回の曲げ （3）アダプターのすぐそばでの曲げ （4）接続ダクト径を小さくする



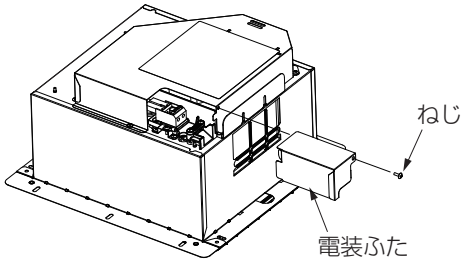
3. 外壁面に、パイプフード（別売品）またはベントキャップ（別売品）を取り付ける。

※パイプフード、ベントキャップは圧力損失の少ないものを選定してください。
※パイプフード、ベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。
※パイプフードは必ず防虫網なしを使用してください。



4. 電源の接続

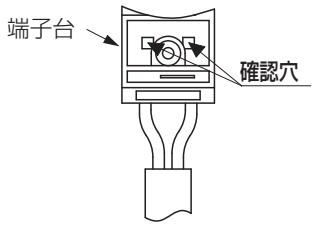
1. ねじ（1個）をはずして電装ふたをはずす。

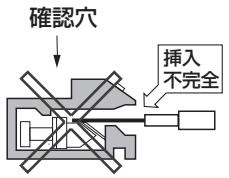


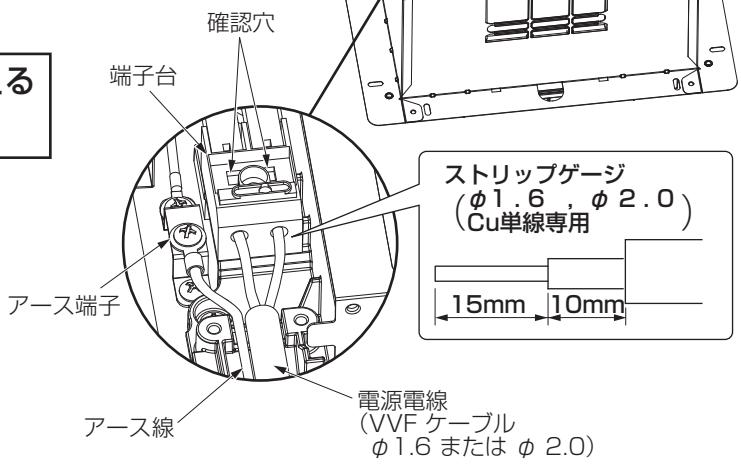
2. ねじ（2個）をはずしてコードクリップをはずす。

3. 電源電線(VVFケーブルφ1.6またはφ2.0）の先端被覆を15mmむいてから、端子台に心線がとまるまで差し込む。

端子台の確認穴から電源電線の心線が見えるまで確実に差し込んでください。

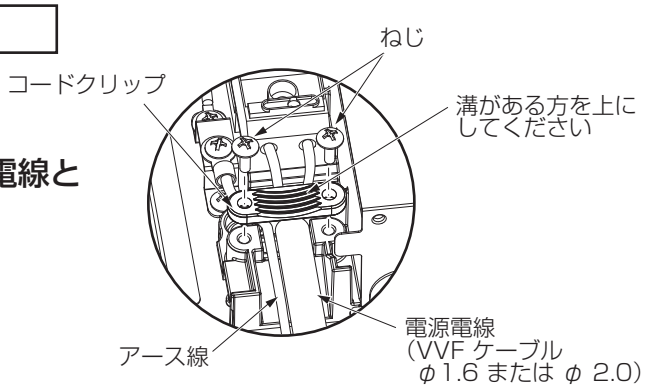






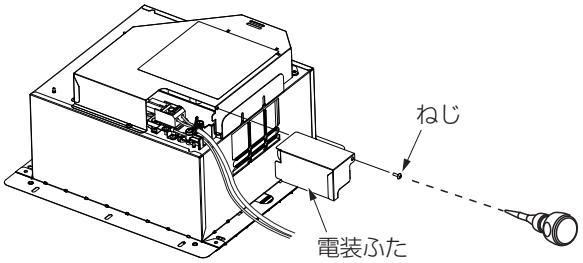
4. アース線をアース端子に接続する。

アースねじは確実に締め付けてください。



5. （2）ではずしたコードクリップに、電源電線とアース線をまとめてはさみ、はずしたねじ（2個）で締める。

6. （1）ではずしたねじ（1個）で電装ふたを取り付ける。



取り付けかた(続き)

5. 本体の取り付け

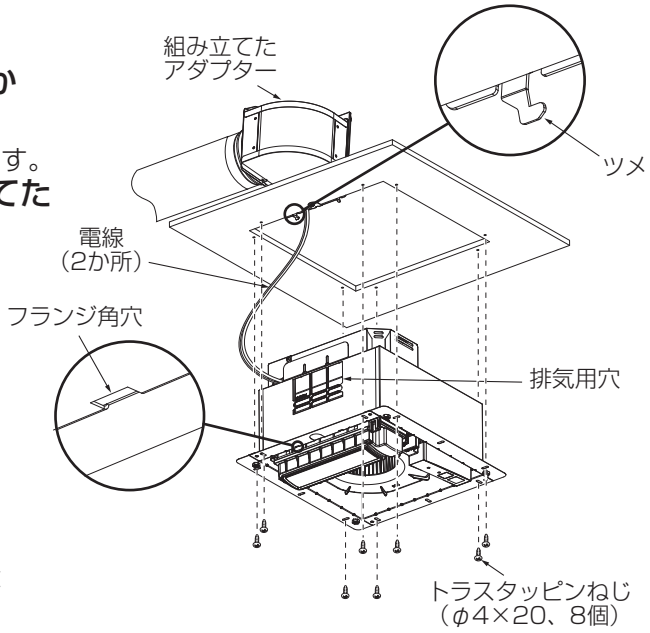
1.組み立てたアダプターが傾いて取り付いていないか確認する。

※ダクトに力がかかることでアダプターが傾くことがあります。

2.本体をゆっくりと浴室内側から押し込み、組み立てたアダプターのツメを本体のフランジ角穴に通す。

※確実に通さないと本体とアダプターが密着せず、風漏れの原因になります。
（点検口より確認してください）

※組み立てたアダプターのツメが本体のフランジ角穴に通しにくい場合は、組み立てたアダプターを固定しているねじをゆるめてツメの位置を調整してください。



3.付属のトラスタッピンねじ（φ4×20、8個）で締め付けて、本体を固定する。

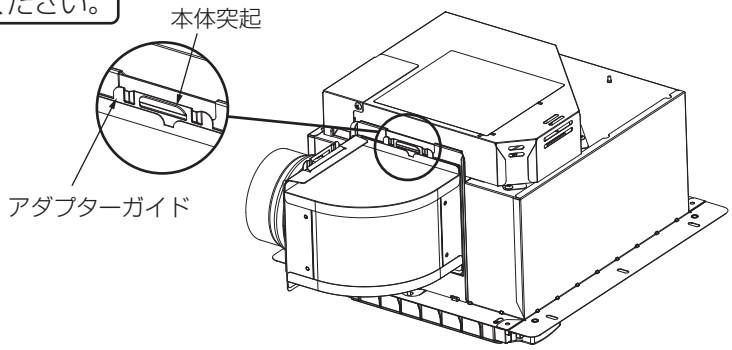
※取り付ける際に必ず本体の排気用穴位置とアダプター位置があっていることを確認してください。

※ねじの締め込みすぎに注意してください。

開口寸法によって、指定した穴以外にねじを締め付けると、本体を確実に固定できなくなる場合があります。
必ず右図の指定した穴に、ねじを締め付けてください。

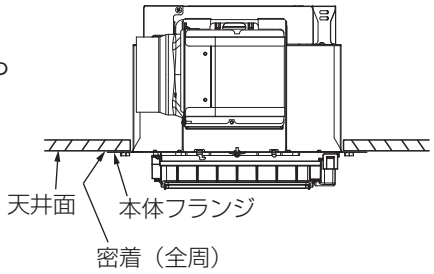
4.本体突起がアダプターガイドに確実に密着していることを点検口から確認する。

※密着していないと風漏れの原因になります。

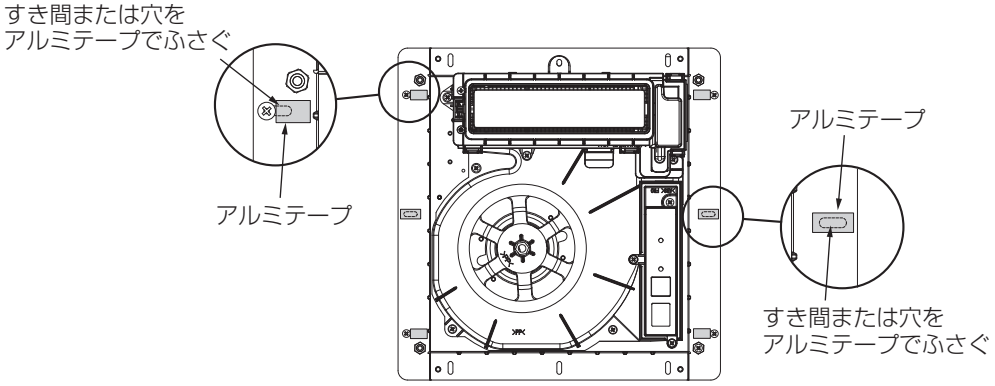


5.本体フランジが天井面に密着していることを確認する。

※密着していないとフロントパネルと天井とのすき間の発生や風漏れの原因になります。



6.本体フランジの長穴からすき間または穴が見える場合は、付属のアルミテープを貼り付けてください。



6. ワイヤレスリモコンの取り付け

1.取り付け位置を決定する。

■ワイヤレスリモコンには約30cmのチェーンが付いています。
（取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください）

浴室外設置の場合

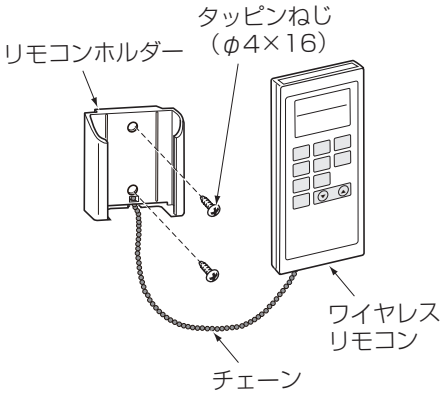
・浴室のドアを開けてワイヤレスリモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

浴室内設置の場合

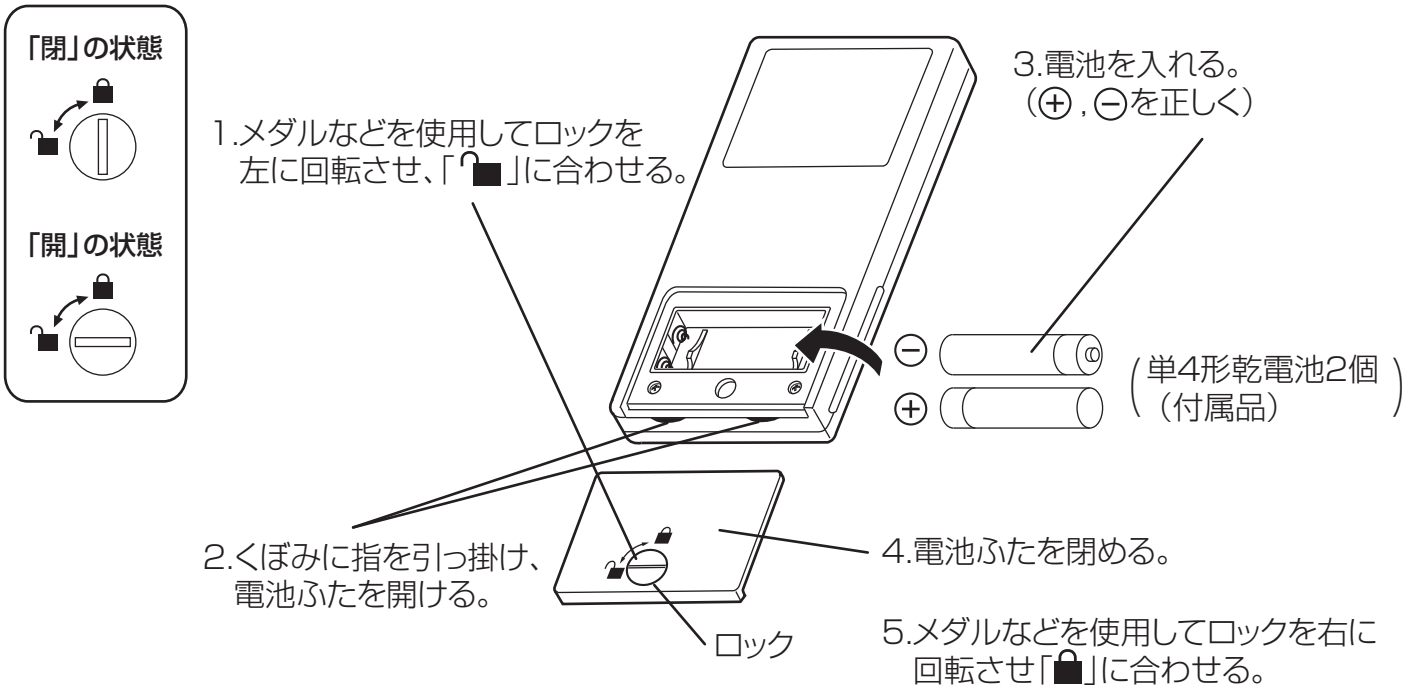
・シャワーなどの水がかかりにくい場所（シャワー栓の反対側など）に設置してください。
・浴槽の上は避けてください。
・取り付ける高さは浴槽より65cm以上高くしてください。

2.リモコンホルダーを付属のタッピンねじで固定する。（2か所）

■取り付け位置が石こうボードやタイルなどの場合、ねじが効かないことがありますので、その際は市販のアンカープラグを使用してください。
■浴室内設置の場合はねじ穴は必ずコーキング処理をおこなってください。
はみ出したコーキング材はふき取ってください。



3.ワイヤレスリモコンに電池を入れる。



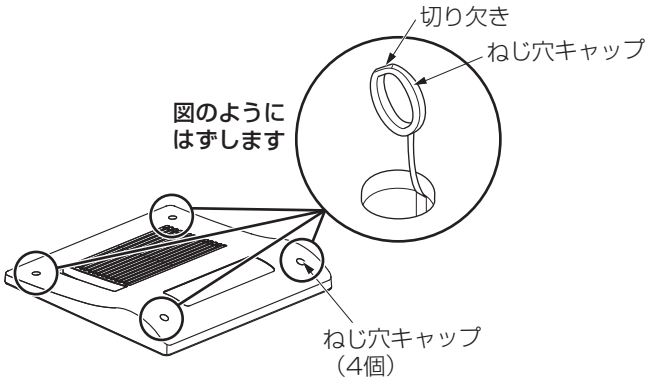
お願い

電池ふたを開閉するときはメダルなどを使用してください。ドライバーを使用するとロックが破損する可能性があります。
電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないように回してください。

取り付けかた（続き）

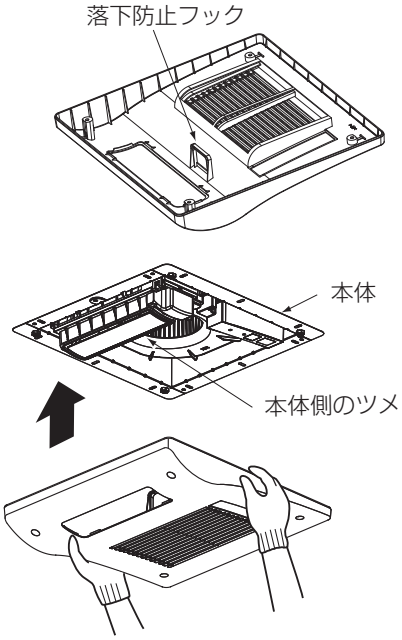
7. フロントパネルの取り付け

①フロントパネルに付いているねじ穴キャップ（4個）を先端の細いもので切り欠きを引っ掛けてはずす。（フロントパネルの表面を傷つけないように注意してください）

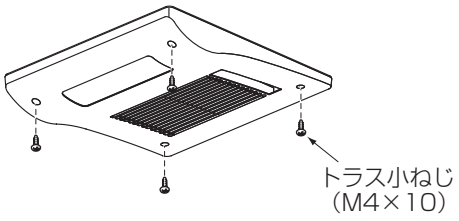


②落下防止用フックを本体側にあるツメに引っ掛ける。

※落下防止用フックが確実に取り付いているか確認してください。



③フロントパネルを付属のトラス小ねじ（M4×10、4個）で取り付ける。



④ねじ穴キャップ（4個）を元通り取り付ける。

お願い

・ねじの締め込みすぎに注意してください。

締め込みの目安は、ユニットバス天井とのすき間がなくなった状態で、それ以上のねじを締め込まないでください。
フロントパネルの破損、そり、たわみ、および振動、騒音の原因にもなります。
締め込むと本体のフランジが変形する原因になります。

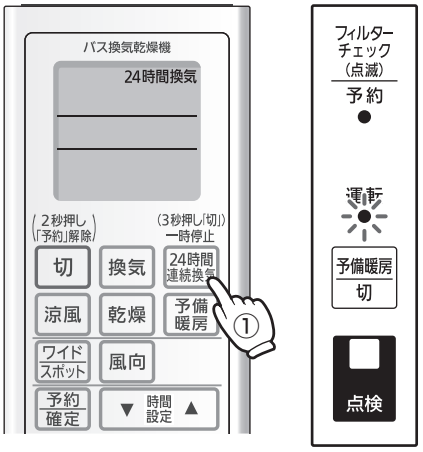
・ねじの締め込みは必ず手締めでおこなってください。

最大締め込みトルクの目安は20N·cm(2kgf·cm)以下です。
一部の電気ドライバーやインパクトドライバーを使用すると締め込みトルクが大きすぎて破損の原因となります。

8. 試運転

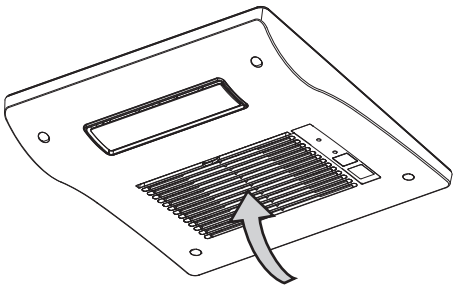
次の手順に従って、試運転をおこなってください。
正常に動作したら、操作方法を取扱説明書に基づいてお客様に説明し、保証書に必要事項を記入のうえ、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

1. 24時間連続換気



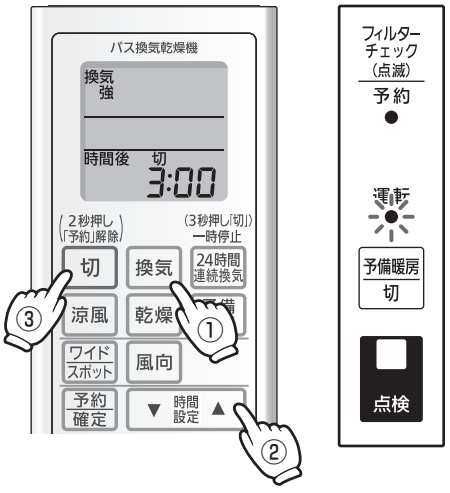
① 24時間連続換気 を押すと、24時間連続換気運転をはじめます。
受信部の運転ランプが点灯し、ファンが回ります。

② 24時間連続換気 を3秒以上押すとファンがとまります。



2. 換気

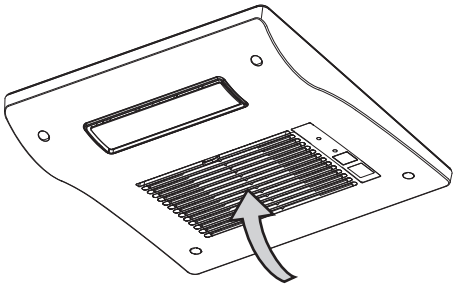
「換気強」の場合



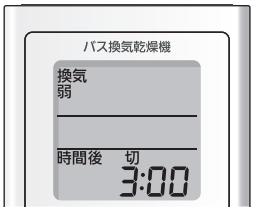
① 換気 を押すと、換気（強）運転をはじめ、もう一度押すと換気（弱）運転に切り換わります。
受信部の運転ランプが点灯し、残時間が3時間に設定されます。（初期設定時）
ファンが回ります。

② ▼ 時間設定 ▲ を押して、残時間が変わることを確認してください。

③ 切 を押すとファンがとまります。

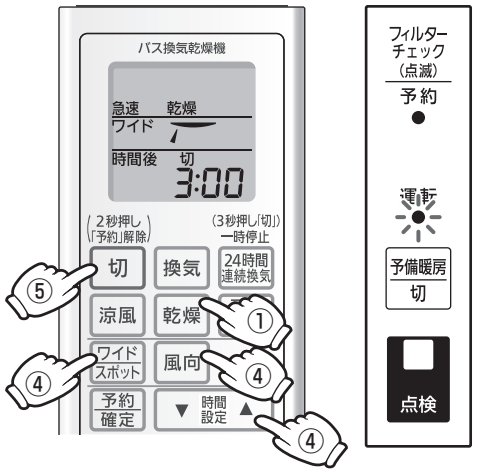


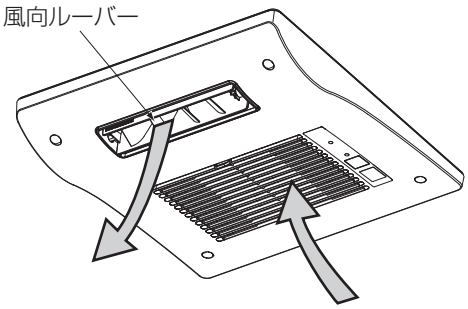
「換気弱」の場合



取り付けかた(続き)

3. 乾燥





① 乾燥 を押すと、急速乾燥運転をはじめます。
受信部の運転ランプが点灯し、風向ルーバーが開き吹き出し口から温風が出てくることを確認してください。

②もう一度 乾燥 を押すと標準乾燥運転に切り換わります。
急速乾燥運転よりも温風の風量が減ったことを確認してください。

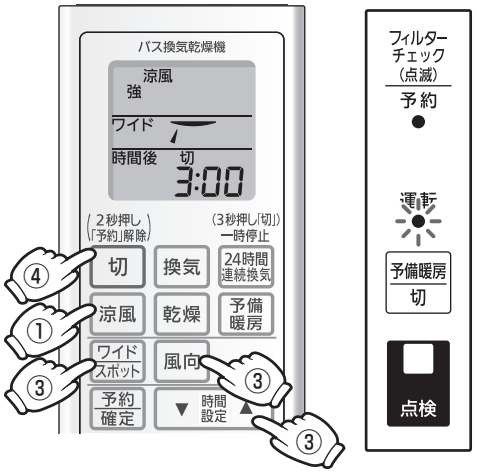
③もう一度 乾燥 を押すとゆっくり乾燥運転に切り換わります。
温風が涼風になったことを確認してください。

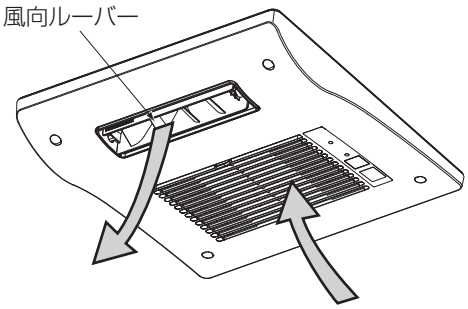
④各運転モードで 風向 ・ ワイドスポット を押して風向ルーバーの向きが変わることを確認してください。
また ▼ 時間設定 ▲ を押して残時間が変わることを確認してください。残時間・風向の設定に関する詳細は取扱説明書を確認してください。

⑤ 切 を押すとファンがとまります。

※本体を停止させた場合、ヒーター冷却のためファンが約10秒間運転することがあります。

4. 涼風





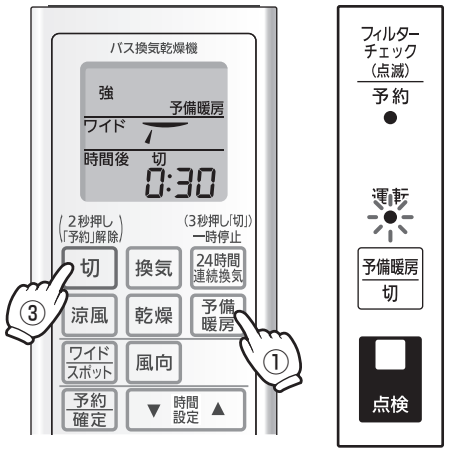
① 涼風 を押すと涼風（強）運転をはじめます。
受信部の運転ランプが点灯し、風向ルーバーが開き吹き出し口から涼風が出てくることを確認してください。

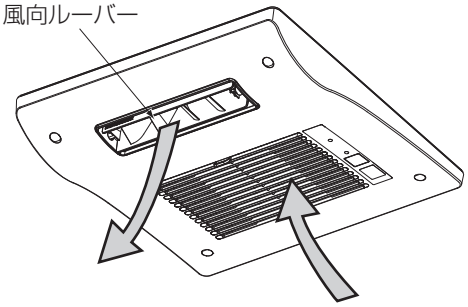
②もう一度 涼風 を押すと涼風（弱）運転に切り換わります。
涼風（強）運転よりも風量が減ったことを確認してください。

③各運転モードで 風向 ・ ワイドスポット を押して風向ルーバーの向きが変わることを確認してください。
また ▼ 時間設定 ▲ を押して残時間が変わることを確認してください。残時間・風向の設定に関する詳細は取扱説明書を確認してください。

④ 切 を押すとファンがとまります。

5. 予備暖房





①[予備暖房]を押すと予備暖房（強）運転をはじめます。
受信部の運転ランプが点灯し、風向ルーバーが開き吹き出し口から温風が出てくることを確認してください。

②もう一度[予備暖房]を押すと予備暖房（弱）運転に切り換わります。
予備暖房（強）運転よりも温風の風量が減ったことを確認してください。

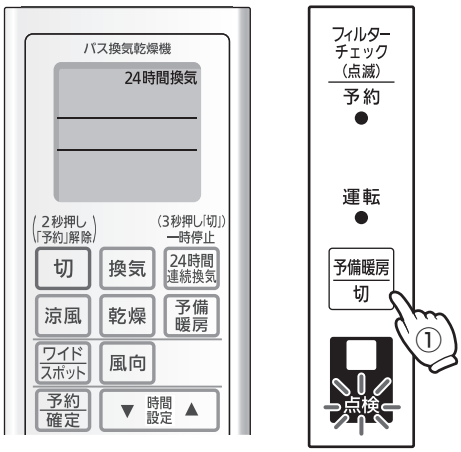
③[切]を押すとファンがとまります。

※[切]ボタンを押して本体を停止させた場合、ヒーター冷却のためファンが約10秒間運転することがあります。

異常についてのお知らせ

ワイヤレスリモコンの症状	原　因	処　置
本体受信部の運転ランプが点滅する。 操作しようとするとブザーが4回鳴る。	本体のセンサーが故障している可能性があります。	修理依頼をされる際に、本体の症状（表示状態）をご連絡ください。

9. 24時間連続換気の風量設定変更方法



①24時間連続換気の単独運転中に、受信部の[予備暖房切]を約5秒押してください。

②点検ランプが1回点滅し、ブザーが2回鳴った場合は風量設定が弱→強運転に切り換わり、送風音が大きくなることを確認してください。
ブザーが1回鳴った場合は、風量設定が強→弱に切り換わり、送風音が小さくなることを確認してください。

※出荷時は弱設定です。

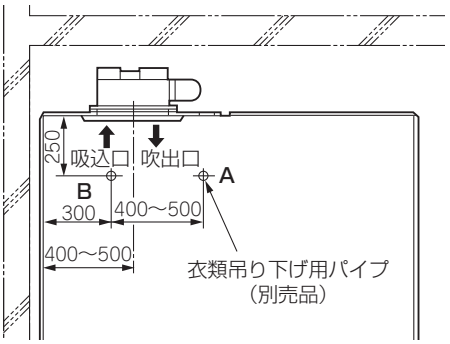
※予約/フィルターチェックランプが点滅・点灯している場合、点検ランプが点滅中の場合は24時間連続換気の風量設定変更はできません。

取り付けかた(続き)

10. 衣類吊り下げ用パイプの取り付け

右記の位置に、衣類吊り下げ用パイプ(別売品)を取り付ける。

※衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは必ず1本当たり4kg以上の質量に耐える不燃性と耐食性の品物を選んで取り付けてください。
※衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず右記の寸法で取り付けてください。
(指定寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります)



※衣類吊り下げ用パイプを1本しか取り付けできない場合は必ずAの位置へ取り付けてください。

衣類吊り下げ用パイプと天井面からの距離は、 250mm 以上離してください。

※製品に近づけすぎると、衣類が変色するおそれがあります。

11. 確認事項のチェック

下記の確認表に従い、確実に施工したかを再度確認してください。
施工できていれば ✓チェックを記入してください。

チェック内容	参照ページ	チェック欄
吹き出し風は洗い場方向に吹き出していますか?	7ページ	
衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は250mm天井面から離れていますか?	4ページ・裏表紙	
異常音はありませんか?	—	
電源電線・アース線の接続は確実ですか?	9ページ	
ワイヤレスリモコンは、浴室内または浴室外の壁に取り付けましたか?	11ページ	
試運転で各運転モードを確認しましたか?	13~15ページ	

※チェックが終了したら工事説明書(本書)、取扱説明書、所有者票セットをお客様へお渡しください。

この工事説明書は、取扱説明書と一緒にお客様で保管いただくように依頼してください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2011

13UG5V425C-P0411-3012